



永井 孝叔 議員



Takayoshi Nagai

8 農地整備事業の推進について

▶未整備地区の事業推進を図る

Q 本市農地整備事業の推進にどう取り組んでいくのか。また、大中地区の※圃場整備の要望が寄せられているが、市はどのように支援をしていくのか。

A 未整備地区を中心に説明会を行うなど、事業の更なる推進を図る。大中地区の圃場整備事業への支援は、事業区内の権利者の方々の合意形成や農地整備事業の実施に向けた支援を全面的に行う。

Q 本市の農業環境を守るために圃場整備以外にどのような取り組みを行っているか。

A 多面的機能支払交付金事業を積極的に推進しており、活動組織の増加設立に向けた推進を行う。

Q 大中地区は公図混乱地区で所有者不明・未相続の農地等も存在し、各課横断的な課題をどのように対処していくのか。

A 課題解決に向け、農政課が中心となり、関係課や関係機関に協力を仰ぎながら事業の推進を図る。



大中地区

※圃場整備とは 農地の区画整理、農道の整備、農業用排水路を一挙に整備するもの。

10 スポーツの振興について

Q スポーツの振興を一層促進していくためにどのように取り組んでいくのか。また、全国ゲートボール選手権大会ジュニアの部が本年7月、一般の部が10月にさくらスタジアムで開催される。市はどのような支援をしていくのか。

A 市の施設整備全般を考慮に入れながら、市民や各団体の要望に応えられるよう取り組む。さくらスタジアム施設使用料の減免をはじめ、施設的环境整備の支援を考えている。

Q 市の野球場に外野フェンスを備える整備や、硬式野球の練習場整備に関する請願書が提出されたが、今回どのような形で考えるのか。

A 総合公園整備の一環として捉えている、さくら市議会での審議経過、結果を注視する。



清原球場

その他の質問

●ゼロカーボンシティ宣言について



岡村 浩雅 議員



Hiromasa Okamura

8 コロナ5類引き下げ後の観光振興策について

▶さくら市観光ナビやホームページ等を活用し周知していく

Q 栃木県民割、全国旅行支援による本市への経済的効果は。

A あわせて1億9,000万円以上の経済効果があった。

Q 本年6月24日・25日日光市でのG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合開催のチャンスを活かし、どう市内への外国人観光客の誘客を図るのか。また具体的な取り組みは。

A 本市のホームページ等への誘導が図れるように市内宿泊施設や観光施設など、市内民間施設等とも連携し、積極的にPRしていく。



龍光寺（喜連川地区）

Q テレビや映画等のロケ場所を好んで訪問する観光客向けに、ロケ場所の詳細情報などを「さくら市観光ナビ」を用い、積極的にアピールすべきと考えるがどうか。

A さくら市観光ナビやホームページ等を活用し周知していく。

16 足利銀行の公金取扱いの一部有償化について

Q 令和6年4月より、足利銀行が公金取り扱いを有償化する。その具体的内容及び本市への影響額は。

A 銀行窓口での収納に関する手数料と市からの送金に関する手数料についての要望で、影響額は合計で1,100万円～1,300万円程度である。

Q 具体的にどう対応するのか。

A 口座振替や統一QRコードによるスマホ決済などの納付方法を積極的に推進する。

11 自転車用ヘルメット購入補助について

Q 改正道路交通法の施行により、本年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。自転車用ヘルメット購入補助を行ない、ヘルメット着用の推進を図るべきと考えるがどうか。

A 市民の需要をはじめ、県内外の実情や先進事例の調査を含め調査研究を行っていく。



その他の質問

●建設業及び運送業の労働時間上限規制適用における本市への影響について



加藤 朋子 議員



Tomoko Kato

4 生きる力を育む教育とは

▶「気力・体力・学力No.1」を掲げ、教育にはとりわけ力を

- Q 新学習指導要領が移行期間を経て全面的に導入されたが、本市における実践と成果は。
1. アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）の取り組みと成果は。
2. 地域社会との連携は。
3. 学習評価はどう変わったのか。

- A 1. このテーマを学校課題に設定し、ICT環境を有効に活用し、様々な調べ学習や話し合いで児童生徒の問題解決的能力の育成に取り組んでいる。
2. 4年前より地域学校共同活動を推進し、コーディネーターを中心に、学校を核とした地域づくりに取り組んでいる。
3. 児童生徒の学習改善や教師の指導改善につながる評価に重点が置かれるようになった。

Q 小学校教育は「読み書きそろばん」を会得する場であり、点数や成績で子どもたちを序列化してしまう通知表は廃止しても良いのでは。

A 通知表は児童生徒の生活の様子や学習状況、発達の状況を保護者にフィードバックすることにより、学校と家庭が協力して子どもたちへの教育効果を高める役割を担っている。廃止の影響を慎重に見極めながら検討することが大切と考える。



8 喜連川地区の観光資源について

Q 喜連川地区は、観光客を魅了する資源が豊富だと感じるが、今後どのように生かしていくのか。

- 1. 御用堀の鯉、寒竹囲いの維持管理は。
2. 笹屋別邸の利活用は。
3. お丸山の今後の方向性は。

- A 1. 鯉は御用堀が渇水、増水を繰り返したため、個体数が減少したが、県の対策検討種に指定されたため新たな放流はできない状況。寒竹囲いは現在4軒の家に残り、自力で維持管理されている。
2. 企画、イベントを通じて周知、利用者増、活性化を図っていきたい。
3. お丸山に至る道路沿いについては少し広めの遊歩道を設置し、喜連川図書館入口の空間については滞留拠点として整備できないか検討を進めている。



寒竹囲い

その他の質問

●ヘルメット購入補助制度について

●議会レポート

県北五市議長会議
5月23日
・高瀬 一徳 副議長

関東市議会議長会
5月25日
・福田 克之 議長

栃木県市議会議長会議
5月29日
・福田 克之 議長
・高瀬 一徳 副議長

全国温泉所在都市議会議長協議会総会
6月13日
・福田 克之 議長

全国市議会議長会定期総会
6月14日
・福田 克之 議長

塩谷市町村議会議長会
6月23日
・福田 克之 議長

塩谷広域行政組合議会
全員協議会・議会臨時会
5月22日
・福田 克之 議長
・笹沼 昭司 議員
・石岡 祐二 議員
・鈴木 恒充 議員
・小堀 勇人 議員

各種委員会等出席
●さくら市農業再生協議会総会
5月15日
・小堀 勇人 議員

さくら市都市計画審議会
6月20日
・加藤 誠一 議員
・永井 孝叔 議員

監査
●例月現金出納検査
4月26日
5月25日
6月26日
・渋井 康男 議員

表彰状・感謝状

●全国市議会議長会表彰

●栃木県議会議長会表彰



●議会の動き

- 4月
3日 辞令交付式
6日 議会広報委員会
14日 議会広報委員会
いきいきクラブ連合会総会
16日 きつれ川商工桜まつり
18日 議員全員協議会
日米ビックルボール親善大会
19日 議会広報委員会
23日 栃木SC さくら市民デー
25日 さくら市遺族会総会
28日 栃木県戦没者合同慰霊祭
29日 さくら市ミュージアム友の会総会

- 5月
3日 加須市民平和祭
8日 さくら市ソフトボール協会総会
9日 建設経済常任委員会視察研修（～11日）
10日 さくら市区長会総会
12日 さくら市国際交流協会定期総会
19日 議員全員協議会
議会運営委員会
第1回臨時会
議会広報委員会
21日 さくら市少年少女レスリング大会
22日 総務常任委員会視察研修（～24日）
文教厚生常任委員会視察研修（～24日）
塩谷広域行政組合議会全員協議会・議会臨時会
23日 県北五市議会議長会議
氏家商工会通常総会

- 5月
25日 関東市議会議長会定期総会
氏家法人会さくら支部全体会議
26日 喜連川商工会通常総会
27日 市立保育園運動会
市立中学校運動会
29日 栃木県市議会議長会議
31日 第1回定例会開会
議員全員協議会
議会広報委員会

- 6月
1日 第1回定例会一般質問
4日 雨情音楽祭
さくら市消防団夏季点検
8日 総務常任委員会
9日 文教厚生常任委員会
12日 建設経済常任委員会
13日 全国温泉所在都市議会議長協議会総会
14日 全国市議会議長会定期総会
喜連川観光協会通常総会
16日 議員全員協議会
議会運営委員会
第1回定例会閉会
22日 さくら市氏家観光協会通常総会
さくら地区防犯協会総会
23日 塩谷市町村議会議長会

総務常任委員会

先進地に学ぶ

日時：令和5年5月22日(月)～24日(水)

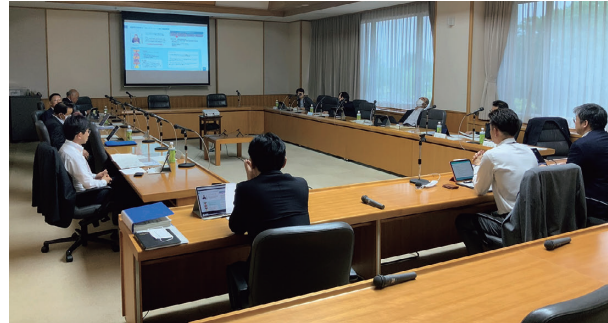
詳細は
こちら→



▶石川県 能美市「スマートインクルーシブシティ事業について」

研修内容

共通プラットフォームを構築し、「医療・介護情報連携システム」を整備。能美市内の医療機関、生活状況等をテキスト、ドキュメント、画像等で共有し、他職種連携の事務の効率化とケアの質の向上を目指します。「福祉見守りあんしんマップ」(及び避難行動要支援者名簿)の電子化も行いました。65歳以上の独居高齢者、75歳以上高齢者のみ世帯、障害者、要介護3～5の方約3,000人を対象に生活状況、服薬、緊急連絡先、必要な支援等を記録します。(記録は民生委員にタブレットを配布しアプリで操作)「医療・介護情報連携システム」と連携することにより、救急搬送との連動、地域防災への活用、情報共有を行います。



感想

デジタルがすべてのことを解決するのではなく、大切なのはインフラを整備して“可能性を拡げる”こと。デジタル化によって「だれひとり取り残さずに個別最適をして個人がよき人生を選択できる社会」が実現し、さらにその地域の特色が際立つようになって感じました。

【番外編】 今回二日目に研修予定であった石川県珠洲市は、GW中の震災害により視察研修を中止しました。よって宿泊先近隣自治体の先進事例を研修して参りました。

回遊促進モビリティ「ヒミカ」(富山県氷見市)▶



▶石川県 羽咋市「自然栽培を活用したまちおこしの取り組み、JAはくいとの連携について」

研修内容

羽咋市は、自然栽培従事者の支援として、①営農支援②居住支援③普及支援の3つの柱で展開しています。特に地域おこし協力隊においては、任期満了後も自然栽培を続ける形で市に残留しているという実績をあげています。自然栽培米はそのほとんどをふるさと納税の返礼品として年間30t出荷しています。全国各地から年々幅広い支持を得るようになり、ほとんどが毎年納税するリピーターです。



感想

今後自然栽培が日本の農産物のブランドになりうる可能性だけでなく、農家さん自身のプライドを育てていくきっかけになるのではないかと感じました。(世界的に有名なワイン、ロマネコンティは自然栽培のブドウを使って生産しています。)

文教厚生常任委員会

先進地に学ぶ

日時：令和5年5月22日(月)～24日(水)

詳細は
こちら→



▶石川県 野々市市「子育て支援事業」

研修内容

1歳児保育士または保育教諭定数改善事業により、保育士1人あたり保育児童数が手厚くする他、民間の保育園での加配については、補助事業で対応しています。

木の積み木が森林環境譲与税を使い、ののいちっ子木育事業として子育て支援担当課で実施され、新生児誕生祝品として配られています。

マイ保育園登録制度は、出産前から3歳になる年の3月31日まで、育児サービスを利用者が選んだ保育園等で受けられる制度になっています。



感想

子育て支援事業に対する積極的な取り組みを感じました。

▶石川県 白山市「共生のまちづくり条例」

研修内容

平成29年10月に「共生のまちづくり条例」を策定し、障がいを理由とする差別の解消についての基本理念を定め、「共生のまち白山市」を実現することを目指し、「共生のまちづくり推進協議会」を設置し、地域との連携を図っています。

インクルーシブ教育について、福祉共育啓発講座を市内の学校・児童クラブ、地域で行うほか、「ノーマネットはくさん」で障がいのある子の育ちの支援と共に育つ環境づくりについての協議も行っています。



感想

共生のまちづくりに対する積極的な取り組みを感じました。

▶石川県 羽咋市「自然栽培を活用したまちおこしの取り組み、JAはくいとの連携」

研修内容

農薬、化学肥料、有機肥料、除草剤を使用せず、土壌を自然の状態に整え自然の力で作物を栽培する農法「自然栽培」を市とJAはくいとの連携のもと、「はくい式自然栽培」のブランドとして確立しています。



感想

課題として、学校給食における自然栽培農産物の提供は、需要と供給のバランスが難しく、米・野菜ともに年数回程度となっています。

建設経済常任委員会

先進地に学ぶ

日時：令和5年5月9日(火)～11日(木)

詳細は
こちら→



▶愛媛県 松山市「みんなで歩いて暮らせるまちづくり」

研修内容

松山市では、道路空間の再配分に道路の幅員構成を車から歩行者や自転車に配分する方式をとっています。沿道住民の合意形成のために、まちづくり模型や交通シミュレーション、実際の車の流れを見るために期間を区切り社会実験も行うなど、時間をかけて市民の理解を得ています。



感想

本市においても、氏家駅東口開発の参考になる内容でした。

▶愛媛県 今治市「サイクリングでの観光振興」

研修内容

観光客向けに、今治駅での駐輪場整備、サイクルスタンド設置、サイクリング中のおもてなしの場として「しまなみサイクルオアシス」の整備、市内コンビニエンスストアへの空気入れの設置等様々なおもてなしが用意されています。



感想

市民向けの事業として、健康作りの面からの自転車活用や自転車用ヘルメット着用推進等、本市においても自転車文化醸成に大変参考になる内容でした。

▶広島県 福山市「鞆の浦グリス口潮待ちタクシー」

研修内容

福山市での、グリス口導入のきっかけは、国土交通省のグリス口実証調査に採択されたことです。調査期間は平成30年11月16日から29日までで、総数1,071名が利用し、利用者の7割が本格導入に賛成し、事業化に向けて動き出しました。

実際に乗車しましたが、狭い道でも難なく通ることが出来ます。地域住民とも普通に会話ができるスピードで、急な坂も難なく登れました。



感想

本市においても、観光そして地域住民の足としての可能性を感じました。

どうなったんべ あの 質問



市民体育祭について

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

平成29年 第4回定例会
平成23年 第4回定例会

現状は…



市民体育祭は、氏家地区、喜連川地区の両地区ごとに実施されていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年度から中止となっていました。令和5年度の開催に向けさくら市民体育祭運営委員会において検討が重ねられました。

スポーツを通じて、行政区内をはじめ、市内全域での交流が行われる機会となることが、期待されます。

今後は…



令和5年度からの新たな試みであるため、実施後には（幅広いご意見、ご感想を伺い）改善、改良点の検討を進め、スポーツを通じた市民間交流の場として、より良い体育祭となるよう進めてまいります。

夏季球技大会、秋季大会共に種目の内容や実施方法を見直し、両地区合同で実施することになりました。

第19回市民体育祭実施日

- 夏季大会
【日付】令和5年7月9日(日)～
【場所】市内各会場
- 秋季大会
【日付】令和5年10月29日(日)
【場所】さくらスタジアム



先進地に学ぶ(建設経済常任委員会)

どうなったんべあの質問は



夏、 威勢よく

市民 の 声

みこしかい
氏家神輿會

おの みつひろ
世話人 小野 光洋 (柿木澤)

新型コロナウイルス感染症拡大は、私たちの生活を一変させ、この3年間、我々の会が活動する機会もなくなりました。我々と交流のある市外で活動する約30の友好団体と会う機会が全くなかったばかりか、我々会員同士の交流すら途絶えてしまいました。今年に入って感染症の位置づけも移行され、市内外のさまざまなイベントや祭りもコロナ禍以前の姿に戻りつつあります。友好団体からの我々への参加案内も届くようになっており、我々の“夏”がようやく戻ってきたと実感しています。

我々の会は、祭りを通じて人との出会いを楽しみ、地域を活気づけることを目的として平成4年に愛好会として発足し、翌5年、正式に「氏家みこし会」として設立されました。発足時の偉大な諸先輩方から引き継ぎ、今年で31年を迎えます。設立当初は、氏家商工まつり、氏家地区の八坂神社の祭礼を中心に活動していましたが、今では同じ市内の喜連川神社の祭礼や交流のある市外の友好団体が主催する祭礼やイベント等へも参加するようになっていきます。

今年の夏も猛暑が続きそうですが、それに負けない“勢い”で威勢よく神輿を担いで、それぞれの祭りと地域を活気づけていきたいと思えます。市議会の皆さまには私たちの活動へのご理解とご支援をお願いいたします。もし、我々と一緒に活動したい方がいれば、気軽にお声かけください。



氏家神輿會

《表紙写真》 氏家神輿會

対象：18歳以上の健康な方
(男女問わず)
内容：祭礼への参加
お問い合わせ：小池
☎090-4969-3669

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体さんを募集しています。ご興味がある方は右記さくら市議会事務局までお問い合わせください。

お知らせ

次回 9月定例会予定 9月1日(金)～10月3日(火)

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

議会広報委員会



永井 孝叔 石岡 祐二 笹沼 昭司 若見 孝信 加藤 誠一
落合 千枝子 副委員長 大河原 千晶 委員長 高瀬 一徳 小堀 勇人

政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています

みんなで徹底しよう
三ない運動
贈らない!
求めない 受け取らない!
これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

初盆 病気見舞

お中元

お祭りへの寄附・差入

※1 政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。
※2 議員の初盆での御香典や寄附は、公職選挙法により禁じられています。

■5月1日発行 73号のお詫びと訂正
議会だより73号の22ページに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
さくら市における「全国桜シンポジウム」の開催 再来年→令和9年